

【寄稿①】 2年間で振り返って

2019年9月に東海東京証券が高木証券から IFAビジネスを受け継ぎ、本格的に IFAプラットフォームとして動き出して2年になる。

2019年夏、「IFAビジネスの将来性はどうか？採算とれると思うか？」というトップからの問いかけに対し、自信をもって、「将来性は大きいにある」という返事をした。

私は、当時、エース証券に出向という形でお世話になり、国内最大規模の IFA事業に携わらせてもらい、2年が経っていた。保険代理店へのプラットフォーム提供をメインとしたビジネスモデルを展開していた。

東海東京証券で IFAビジネスを始めるにあたり、ウェルス層をエンドユーザーにした IFA業者様との新規契約に注力することとした。従前のマーケット対応をメインとしている業者様、保険代理店様に加え、違う顧客層にもアプローチすべきだと考えたのだ。

後発の当社がビジネスに進出するにあたり、対面証券である、地方銀行との提携によるプラットフォーム提供のノウハウがある、ウェルスマネジメントビジネスも始めている…、そういう強みが活かせる、という思いがあった。

新規開拓を進め、おかげさまで、発足時から比較し、当社として契約している IFA会社は 2倍、契約外務員数は 3 倍超、預かり資産は 1.7倍を超えるに至っている。

ウェルス系業者様のご要望は、今まで社内では経験のないようなお客様への対応だった。

対面のノウハウはある、とはいっても、社内営業員への提供するためのルールに則ったものであり、IFA業者様に提供するためには今までの社内ルールでは対応が難しく、コンプライアンス面や商品供給フローなど、新規事業のような扱いであった。

しかし、当社だからこそ、業者様のご要望に応えられる、との思いで、当社の強みとなる、対面ならではのマーケット商品、コンプライアンス体制、グループ力を活かした商品提供、特例サービスなど、検討できるものは何でもする、ということをもットーとして取り組んできている。

すぐには対応できないものや、関係部署で検討はしても結局提供できないサービスもある。

まさに、0から1への挑戦の連続だ。

IFA業者様を通して新しい顧客層にアプローチすることは、絶えず刺激を受けている。

また、新機軸において、10月からフィデアホールディングス傘下の 2銀行が仲介業務における営業を開始する。

当社にとって、初の本格的な銀行への仲介業務支援となる。当社グループのサポート体制、人材出向や研修提供をメリットとして考えられ、提携していただいた。

IFAというチャンネルの新天地、いわゆるフロンティアが切り拓かれつつあり、金融での新たな価値創造が始まっている。そして、IFAビジネスは成長段階であり、やり方のパターンが決まっているものではない。

IFAの皆様の事業に対する思いや志にふれるとき、また、皆様と一緒に汗をかきながら成果が見えたとき、わくわくした気持ちになる。今、この時期、この場に立ち会うことができることを幸せに思う。



今頭 育仁氏
東海東京証券株式会社
執行役員 IFAカンパニー長

【寄稿②】～図書推薦『資本主義の再構築 公正で持続可能な世界をどう実現するか』
レベッカ・ヘンダーソン著（日本経済新聞出版）



書名：資本主義の再構築
公正で持続可能な世界をどう実現するか
著者：レベッカ・ヘンダーソン
発行元：日本経済新聞出版



菅野 暁氏
アセットマネジメントOne株式会社 取締役社長（代表取締役）

著者はハーバード・ビジネス・スクールで最高の人気を誇る講座「資本主義の再構築」（本書の主題でもある）主宰教授で、2019年にはFinancial Times紙が選ぶ「傑出した取締役」3人のうちの1人にも選ばれた経済学者だ。こう聞くとミクロ経済の視点などから政治的主義を解説するような堅い本を想像するが、実際その中身は、著者のサステナビリティ（（環境や社会の）持続可能性）への熱い思いが豊富な事例とともに語られている。

導入では、株主価値の最大化に重きを置いたこれまでの資本主義について、それに伴い今までに起きた地球への弊害についてがわかる。そして我々がそのような現状を打破するための、共有価値の創造をはじめとした、「資本主義の再構築のために必要なこと」の概要が書かれている。

そして第三章以降は、企業・政府・運用機関などのあらゆるステークホルダーが如何に環境や社会の課題を打破するための努力を行ったかが臨場感あふれる描写で書かれており、非常に面白い（なお、本書では GPIF の取り組みについても書かれている）。導入に書かれていた資本主義の再構築のために必要なことを頭に入れたうえで事例を読むと、そういった取り組みをしっかりと行っている企業を応援したい気持ちになる。そして最終章では「自分たちは何ができるか」ということについて、過去に行動を起こした人々の事例とともに書かれており、どのようなポジションであっても一人一人の姿勢の重要さが重要であるとひしひしと感じた。

本書に挙げられている事例は、利益をしっかりと出しつつ、何かを犠牲にせず持続可能なビジネスモデルを作り上げたような素晴らしい事例ばかりだ。この「二兎を追う者」がしっかりと二兎を得るような事例は、お客さまのニーズに真に合った商品を勧めつつ、そのサービスの対価をいただく FAの皆様に通ずるものがあるのではないかと思う。そういう観点で皆様のモチベーションになりうる書であるだろう。

【協会活動紹介】委員会報告～研修委員会の活動報告～

令和3年度第2回理事会において、研修分科会の発展的改組により研修委員会を設置することが決議され当委員会が発足した。当委員会の活動目的は、

太田 智彦理事

(SBIマネープラザ株式会社 代表取締役執行役員社長)



- ① 会員所属アドバイザーの専門性向上やビジネス・プラクティスの強化につながる知見やノウハウの獲得を支援する研修コンテンツやイベントの企画立案と実行・推進
- ② 会員 IFA 法人の経営の強化に資する知見やノウハウの獲得を支援する研修コンテンツやイベントの企画立案と実行・推進
- ③ 上記研修コンテンツ拡充による業界全体の底上げおよび協会知名度向上を通じた会員獲得推進

としている。

今年度は 6 月と 7 月に、金融庁幹部をお招きしたオープン形式のセミナーを開催し、「金融サービス仲介法制」や「資産運用業高度化プログレスレポート2021」についてご説明を頂いたほか、正会員、法人アソシエイトの代表者等にご登壇頂きパネルディスカッションを開催した。さらに、9月には元金融庁長官の遠藤俊英氏をお招きして基調講演やパネルディスカッションを開催する予定になっている。

また、当委員会の活動目的である、会員所属アドバイザーの専門性の向上やノウハウの獲得を支援するため、株式会社ファーストプレイス社に委託して「ゴールベース・プランニング基礎スキル研修」プログラムを開発し、8月から正会員、法人アソシエイトの所属アドバイザーに対して当該研修プログラムの提供を開始している。これはまだスタートに過ぎず、今後はさらに当該プログラムの専門性を高めた高度化プログラムの開発を進めるほか、会員所属アドバイザーの資質や技能の向上に資する個別研修コンテンツを策定し、会員に対し配信して行く方針である。

当委員会の活動を通じて、独立系ファイナンシャル・アドバイザー（以下「IFA」という。）の資質の向上を図り、既存のブローカーと IFA が明確に差別化され、顧客から資産管理のパートナーとして認められ信頼される存在となる一助になれば良いと考えている。

金融庁が 6 月に公表した「投資信託等の販売会社による顧客本位の業務運営のモニタリング結果について」によれば、当局が金融事業者に対し求めている、いわゆる「ゴールベースアプローチ」に基づく資産管理型のビジネスモデルの浸透は未だ道半ばという評価であろう。

当委員会としては、今後も、会員所属アドバイザーの専門性の向上やノウハウの獲得の支援活動を通じて、当協会及び IFA の知名度の向上を図るとともに、会員会社が継続して FD の追求と企業業績を両立させる持続可能なビジネスモデルへの転換により着実に発展して行くことで、業界全体の底上げに繋がることを期待している。

『ゴールベース・プランニング基礎スキル研修』スケジュール

1 回目	8月25日(水) 14:00～17:00	顧客のゴールをきくことの重要性
2 回目	9月14日(火) 14:00～17:00	演習(ケーススタディ)
3 回目	10月6日(水) 14:00～17:00	顧客の購買心理とコミュニケーション理論
4 回目	10月27日(水) 14:00～17:00	ゴールベース・プランニングの導入から分析・課題設定まで
5 回目	11月17日(水) 14:00～17:00	ゴールベース・プランニングのゴール設定と商品選択基準の基礎
ロープレ研修	12月1日(水) 10:00～18:00	集合研修(ロープレ)

【8月の協会ホームページ会員向け掲載情報】

8月24日掲載_2021年8月23日発行の『ファンド情報』に、当協会中桐理事長、福田理事、本多理事の「日本の IFA ビジネス」に関する寄稿文が掲載されました。

8月23日掲載_当協会会員企業主催イベントのご案内

8月20日掲載_新規入会者のお知らせ【8月】

8月12日掲載_「第1回、第2回認知度委員会」議事録と資料の掲載について

8月4日掲載_時事通信社が運営するニュースサイト『長期投資応援団』に、当協会が主催したセミナーの記事が掲載されました。

【編集後記】

本8月号では、東海東京証券株式会社 執行役員 IFAカンパニー長の今頭育仁様から「2年間を振り返って」と題してご投稿をいただきました。また、アセットマネジメント One株式会社 取締役社長(代表取締役) 菅野暁様からレベッカ・ヘンダーソン著作「資本主義の再構築」をご紹介いただきました。そして協会の太田智彦理事から「研修委員会の活動報告」がありました。まだまだ暑い日が続いております。皆様のご健勝をお祈り申し上げます。(事務局 入木雅和)